教育研究業績書

所　属	職　名	氏　名	学位
幼児教育学科	教授	曽田　裕司	Ph.D.

Ⅰ　教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概　　要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(2)作成した教科書・教材・参考書 「音楽表現の内容と指導法Ⅰ」『保育・幼児教育 5領域の内容と指導法』学文社	 平成30年11月	
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 ・ワタナベ学園所属幼稚園教諭合同夏期研修会講師	 平成25年7月31日	
・第29回サマーセミナー(尚絅大学短期大学部幼児教育学科)講師	平成26年8月10日	
・教員免許状更新講習講師	平成27年8月19日 平成28年8月24日 平成29年8月21日 平成30年8月20日 平成30年10月27日 令和元年8月21日 令和元年9月21日	
・第31回サマーセミナー(尚絅大学短期大学部幼児教育学科)講師	平成28年7月30日	
・第33回サマーセミナー(尚絅大学短期大学部幼児教育学科)講師	平成30年8月5日	
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ　研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌（及び巻、号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
（著書）					
『音楽表現学のフィールド2』（第II部第5章「子どもの音楽表現という様式―不確定性の新しい射程」）	共著	平成28年9月	東京堂出版	日本音楽表現学会（編）	pp.238-253
『保育・幼児教育 5領域の内容と指導法』（第9章「音楽表現の内容と指導法I」）	共著	平成30年11月	学文社	柴田賢一・森みゆき（編）	pp.92-100
（論文）					
ブライアン・ファーニホウの作曲技法における「コンプレキシティー」	単著	平成11年1月	『ベルク年報』Vol. 8、日本アルバン・ベルク協会		pp.140-148
From Form to Frame: Ruth Crawford Seeger's Prelude No. 7	単著	平成22年11月	『音楽表現学』Vol. 8、日本音楽表現学会		pp.1-16
John Cage, Zen Buddhism, *Haiku*, and Romanticism: A Comparative Study	単著	平成23年6月	『比較文化研究』No. 97、日本比較文化学会		pp.47-59
Musical Acceptance of "Asia" on the West Coast: Immigrants, Exoticism, and Modernism before 1945	単著	平成23年9月	『比較文化研究』No. 98、日本比較文化学会		pp.125-133
音そのものをとらえる―幼児教育における音遊びの美学―	単著	平成23年11月	『音楽表現学』Vol. 9、日本音楽表現学会		pp.31-44
トレヴァー・ウィシャート著、坪能由紀子、若尾裕訳「音あそびするもの よっといで」＜書評＞	単著	平成24年11月	『音楽表現学』Vol. 10、日本音楽表現学会		pp.33-36
乳児期の前言語的音声とジョン・ケージにおける「言語の音楽化」の比較研究	単著	平成25年6月	『比較文化研究』No. 107、日本比較文化学会		pp.53-61
保育者養成のための教育原理における系統主義と経験主義をめぐる諸問題	単著	平成26年3月	『越谷保育専門学校研究紀要』No. 2		pp.27-33

保育における音楽表現のプラグマティズム的理解について―「表現」テキストを手がかりに―	単著	平成26年3月	『保育士養成研究』No. 31、全国保育士養成協議会		pp.21-30
鑑賞教材としての近代西洋音楽史における主観的表現と客観的表現	単著	平成27年4月	『比較文化研究』No. 116、日本比較文化学会		pp.23-31
幼稚園における歌の選曲要因としての時間という観念	単著	平成27年6月	『次世代育成研究・児やらい』Vol. 12、尚絅大学		pp.3-12
Independence and Interdependence in John Cage's Adoption of Zen Buddhism and Anarchism	単著	平成27年9月	PhD diss., State University of New York at Buffalo		p.140
保育の「表現」領域における幼児の「変化する音楽表現」への着目	単著	平成28年3月	『尚絅大学研究紀要』No. 48		pp. 125-135
個別性と共同性を結ぶ音楽―音遊びの会におけるジョン・ケージ的側面と特有の側面―	単著	平成28年4月	『比較文化研究』No. 121、日本比較文化学会		pp. 183-194
環境音楽の視点から見た保育の環境音―潜在する音楽の発見―	単著	平成28年7月	『次世代育成研究・児やらい』Vol. 13、尚絅大学		pp. 3-10
倉橋惣三の音楽表現観―自発性の概念を中心に―	単著	平成29年3月	『尚絅大学研究紀要』No. 49		pp.59-69
心の基盤形成に資する音楽表現―音楽心理学と脳科学の知見を援用して―	単著	平成29年6月	『次世代育成研究・児やらい』Vol. 14、尚絅大学		pp.3-11
倉橋惣三の音楽表現論における「無我」概念の源泉―鈴木大拙の仏教思想およびフレーベルの教育思想との比較研究―	単著	平成29年7月	『比較文化研究』No.127、日本比較文化学会		pp.45-56
ジョン・ケージが仏教を通して見たヘンリー・ソローの音楽論	単著	平成30年2月	『比較文化研究』No.130、日本比較文化学会		pp. 11-21
コードを用いた創作指導法の考察	単著	平成30年2月	『次世代育成研究・児やらい』Vol. 14 (2)、尚絅大学		pp. 11-20

ピアノ練習における「相転移」を記述する理論についての予備的考察―現象学的エスノメソドロジーを中心に―	単著	平成30年3月	『尚絅大学研究紀要 人文・社会科学編』No. 50		pp. 61-70
ジョン・ケージにおけるダダイズム受容の再検討―禅における生の絶対肯定を確認する道程として―	単著	平成30年10月	『比較文化研究』No.133、日本比較文化学会		pp. 117-127
ヘンリー・ソローにおける天地の音楽―スフィアとセレスティアルの観念をめぐって―	単著	平成31年3月	『尚絅大学研究紀要 人文・社会科学編』No. 51		pp. 31-43
音楽の日常性と非日常性―幼児の音表現における同一性を中心に―	単著	令和元年7月	『比較文化研究』No.136、日本比較文化学会		pp. 173-182
音を共に出すこととしての「共奏」の諸相―合奏を越えて―	単著	令和元年7月	『次世代育成研究・児やらい』Vol. 16、尚絅大学		pp. 3-12
ジョン・ケージにおける自由の諸概念―鈴木大拙の見地にもとづく比較研究―	単著	令和2年4月発行予定	『比較文化研究』No.139、日本比較文化学会		p. 13
（その他）					
ブライアン・ファーニホウの‘String Trio’ー2つの「コンプレキシティー」 ＜解説＞	単著	平成8年8月	『第8回秋吉台国際20世紀音楽セミナー＆フェスティバル』同フェスティヴァル実行委員会		pp. 59-60
Pervasive Mind in the Universe: John Cage’s Aesthetic and Zen Buddhism	単著	平成21年4月	American Studies Storyteller’s Conference（於：State University of New York at Buffalo）		
A Reading of Silence : Anarchy and Zen Buddhism in John Cage’s *Lecture on the Weather*	単著	平成22年2月	The Third Annual Graduate Symposium on Music（於：State University of New York at Buffalo）		
ジョン・ケージにおける主客二元論の超越	単著	平成22年11月	日本音楽学会第61回全国大会（於：愛知芸術文化センター）		
実験音楽の実践者としての子ども―音あそびの美学的基礎づけに関する試論―	単著	平成23年6月	日本音楽表現学会第9回大会（於：上越教育大学）		

ジョン・ケージにおけるアナーキー概念の複合性について	単著	平成23年11月	日本音楽学会第62 回全国大会（於：東京大学）		
身近なモノの音に心を開くということ ＜講演＞	単著	平成24年2月	日本設計工学会研究調査部会第9回設計オープンセミナー（於：日本設計工学会事務局会議室）		
乳児期の喃語とジョン・ケージにおける「言語の音楽化」の比較研究	単著	平成24年6月	日本音楽表現学会第10回大会（於：山梨大学）		
音楽鑑賞教育におけるマテリアリズム的傾向に関する諸問題	単著	平成25年6月	日本音楽表現学会第11回大会（於：いわて県民情報交流センター アイーナ）		
幼児の音楽表現に見られるプラグマティックな側面について―組織的音楽と自在な音楽表現の統合的把握―	単著	平成26年6月	日本音楽表現学会第12回大会（於：帝塚山大学）		
音楽様式としての幼児の音楽表現	単著	平成27年6月	日本音楽表現学会第13回大会（於：沖縄県立芸術大学）		
子どもの「変化する音楽表現」を教員・保育者養成においてどのように取り上げるか	単著	平成27年8月	全国大学音楽教育学会第31回大会（於：山口県国際総合センター海峡メッセ下関）		
音遊びの会が問いかける自律と結びつき―ヘンリー・ソローとジョン・ケージを手がかりに―	単著	平成28年3月	日本比較文化学会第28回九州支部大会（於：北九州市立大学）		
ヘンリー・ソローの思想に内在する音楽的性格―ジョン・ケージの美学との比較から―	単著	平成28年6月	日本音楽表現学会第14回大会（於：拓殖大学北海道短期大学）		
安定した心の発達に寄与する「思いのままに楽しむ」音楽表現―音楽心理学と脳科学が示唆するもの―	単著	平成28年8月	全国大学音楽教育学会第32回大会（於：鹿児島女子短期大学）		
ピアノが弾けた瞬間に何が起こるのか―サドナウの現象学的記述を手がかりにした「相転移」描出作法への序説―	単著	平成29年8月	全国大学音楽教育学会第33回大会（於：岐阜市：ホテルグランヴェール岐山）		

ジョン・ケージにとってダダイズムとは何だったのか	単著	平成30年6月	日本音楽表現学会第16回大会（於：広島文化学園大学）		
生は響き続ける―欧米の前衛芸術と人間の始原的音表現―＜講演＞	単著	平成30年9月	平成30年度尚絅公開講座（於：尚絅大学）		
人の始原的音表現と前衛芸術の日常性概念	単著	平成30年9月	全国大学音楽教育学会第34回九州地区学会（於：尚絅大学短期大学部）		
ジョン・ケージにおける自由とはいかなるものか―鈴木大拙の見地から―	単著	令和元年6月	日本音楽表現学会第17回大会（於：愛知教育大学）		
幼児の音表現における自由とは何か	単著	令和元年9月	全国大学音楽教育学会第35回九州地区学会（於：別府市：Hotel芙蓉倶楽部）		

Ⅲ　学会等及び社会における主な活動

平成26年6月～平成29年6月	日本音楽表現学会編集委員